

## 色彩豊かに 表現技術も一段と向上 ……………

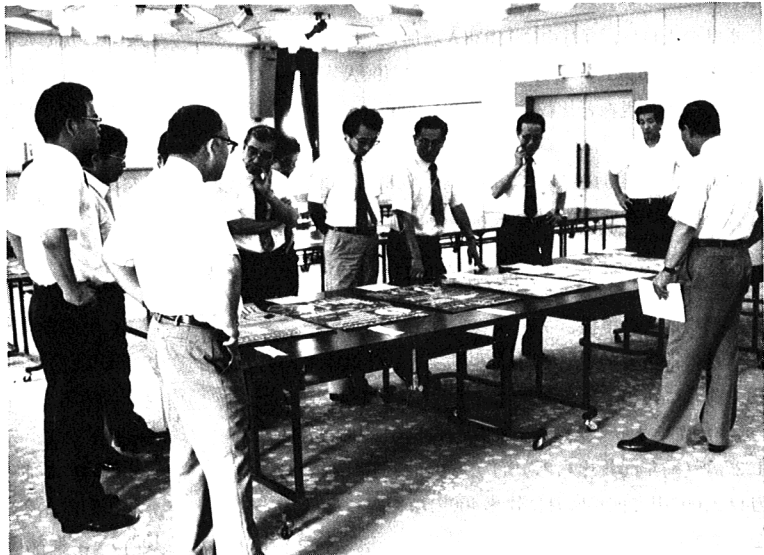
第37回を迎えた昭和61年度茨城県統計グラフコンクールも、応募作品10,403点、応募者19,191人という多くの方々の参加を頂きました。

本年度の作品の傾向としては、従来から本県の作品は紺系統の寒色を基調にした作品が多かったのですが、本年度の作品は暖色系の色使いが多く見られました。

また、テーマの選択についても身近なところに鋭い着眼をした作品や、時代に対する敏感な反応等、児童・生徒の関心がどの辺にあるかも伺われて興味深いものがあります。

審査は、県内5地区において地域別審査が行われ、優秀な作品435点について県審査が行われました。

県審査の対象となった作品はいずれも優劣をつけ難いものばかりで、審査は2日間にわたり慎重



審査会

に行われ、入賞作品66点が選ばれました。

この入賞作品のうちから、知事賞5点、県議会議長賞3点等が選ばれ、さらに全国コンクール出品作品18点が選ばれました。

これらの入賞者については、10月17日水戸市民会館において行われた第28回茨城県統計大会の席上で表彰が行われ、賞状と副賞品が贈られました。

この表彰式には父兄や先生方も出席され、受賞者を代表して下妻市立大宝小学校2年の高久英恵さんが喜びのこぼしをのべ、満場の拍手を受けました。

また、これら入賞作品については12月中旬、水戸駅前川又書店内において展示を行い皆様方にご覧頂きました。

その後各小・中学校を巡回する予定になっています。

次に、知事賞受賞作品をご紹介します。



展示作品を前に喜んだり、感心したり

昭和三十九年度茨城県統計グラフコンクール

知事賞受賞作品

《第1部》



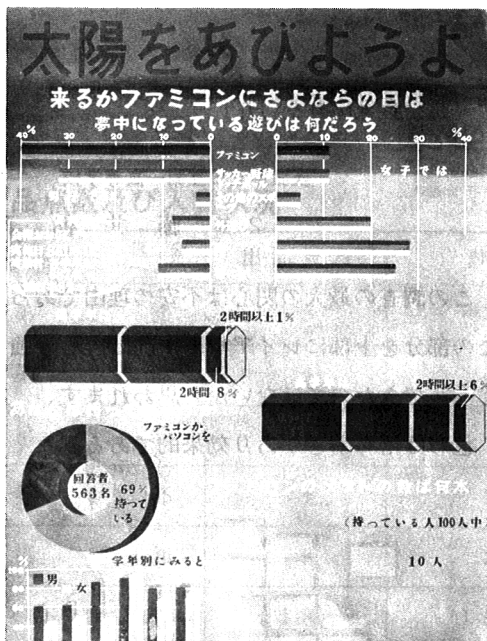
「気持ちがいいよお手つだい」

結城市立結城小学校

3年 鶴見 蘭子

家庭ではどんなお手つだいをするのか、そのあとの自分たちの気持ちや、両親の反応などが、グラフのならべかたと配色の効果でたいそう見やすく、ほほ笑ましい作品になりました。

《第2部》



「太陽をあびようよ」

日立市立大久保小学校

6年 森 智隆

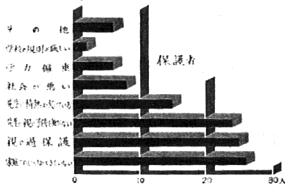
時代と共に変化している“遊び”について、ファミコンに夢中の様子が伺われますが、もっと野外で太陽をあびながら健康的な遊びもしましょう。タイトルに説得力があります。

《第3部》

# 問われる家庭教育の実態

## 深刻な増える教育問題

教育問題の根源



中学生の

気になるところ



今日の家庭でのしつけは



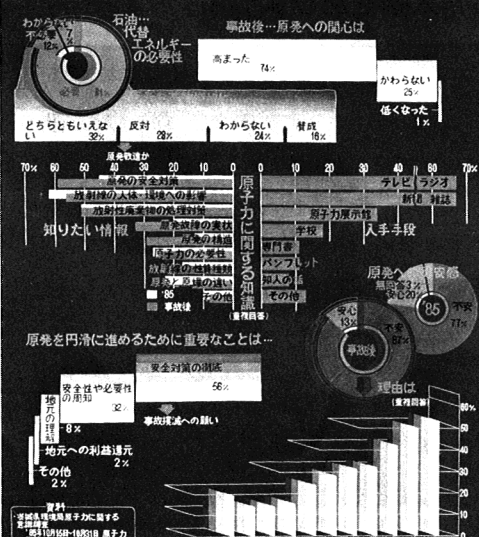
しつけのどんな面に厳しいか



《第4部》

# 原子力発電所

## チェルノブイリ原発事故後意識調査



### 「問われる家庭教育の実態」

結城市立結城南中学校

- 3年 永井 友美
- 3年 塚原 律子
- 3年 舟橋 美和

大人への大切な成長過程にある中学生にとって、家庭での教育やしつけが学校のそれにもまして大切であるかを、種々な角度からグラフは鮮明に表わしています。

中学生自身の自覚と父兄の注意関心を。

### 「原子力研究所」

茨城県立日立第一高等学校

- 2年 藤井 郁子

この調査の最大の関心は不安の理由であろう。この部分を上部にレイアウトすればもっと強くアピールできたのではないかと思います。色彩は落ち着いた感じが効果的である。

《第5部》



「つのも一方 重税・不公平感」

西茨城郡友部町大田町

稲野辺 敏 明

国民の税金についての意識について、多角的にとらえており、グラフもていねいな仕上がりとなっています。

色彩も赤青、黄青と寒暖の対比が効果的です。

入賞作品数・連続全国第1位を確保

第34回・統計グラフ全国コンクール

出品点数及び入賞状況

部 別	区 分	出品点数	計	入 選	佳 作	奨 励 賞
第 1 部		5 点	4 点	2 点	— 点	2 点
第 2 部		5	4	—	3	1
第 3 部		5	4	4	—	—
第 4 部		1	1	1	—	—
第 5 部		2	2	1	1	—
計		18	15	8	4	3

第34回統計グラフ全国コンクール入選作品

部門	賞区分	表 題	氏 名	学 年 (職業)	学 校 名 (住所)
1	入 選	気持ちがいいよお手つだい	鶴 見 蘭 子	3	結城市立結城小学校
	入 選	うちゅうのゆめいっぱい	高 久 英 恵	2	下妻市立大宝小学校
	奨励賞	こんなにかわったよ きょうだい人数	北 條 裕 子	2	結城市立結城小学校
	奨励賞	おもしろいけど 目が見つかるファミコン	岡 山 香 織 堀 江 直 美	3 3	美和村立嶽郷小学校
2	佳 作	太陽をあびようよ	森 智 隆	6	日上市立大久保小学校
	佳 作	保健室に行ったり来たり	服 部 友 紀 栗 原 真由美 小 澤 暁 子	4 4 4	五霞村立五霞東小学校
	佳 作	街の緑を守ろう 私たちのできることは	関 根 春 香 小 野 舞	6 6	土浦市立神立小学校
	奨励賞	思いやりの心大切に！	坪 井 美 希	6	岩瀬町立羽黒小学校
3	入 選	問われる家庭教育の実態	永 井 友 美 塚 原 律 子 舟 橋 美 和	3 3 3	結城市立結城南中学校
	入 選	今、日本の食料は……	大 門 良 文 長谷川 徳 生	3 3	結城市立結城中学校
	入 選	中学生にとって制服とは	富 塚 正 子 小 郷 晃 子 松 本 由 佳	3 3 3	竜ヶ崎市立城南中学校
	入 選	長寿国日本	奥 村 正 江 真 家 ひとみ	3 3	八郷町立有明中学校
4	入 選	原子力発電所	藤 井 郁 子	2	県立日立第一高等学校
5	入 選	自信過剰と無責任 がんはこわくないの？	青 木 勇 一	郵政職員	西茨城郡友部町小原
	佳 作	つのる一方 重税・不公平感	稲野辺 敏 明	郵政職員	西茨城郡友部町大田町

## 統計調査員4氏・晴れの受賞

昭和61年度茨城県功績者ほう賞

県民の日の11月13日、茨城県ほう賞規則(昭和37年茨城県規則第1号)に基づく昭和61年度茨城県功績者ほう賞の式典が行われ、統計調査員4氏が晴れの栄誉を受けられました。昨年までに22人の統計調査員の方々がこのほう賞を受けられましたが、これらの方々は長い間統計調査員として地道な活動を通して地方自治の進展に貢献されましたが、その労が報われ感激もひとしおのことと存じます。

次に受賞者をご紹介します。

阿見町統計調査員 長沼安治氏(76歳)

昭和22年戦後第1回目の国勢調査以来昨年の国勢調査まで連続9回、また、農林水産省所管の農(林)業センサスに9回、県所管の農業基本調査に19回と、約40年にわたる長い間統計調査に従事されました。また、民生・児童委員、青少年問題、公民館運営等、幅広く活躍され、地域住民の信頼は絶大なものがあります。

出島村統計調査員 大久保延雄氏(74歳)

氏も長沼氏同様国勢調査に9回、農(林)業センサスに7回、農業基本調査には35回も従事される

とともに、出島村統計調査員協議会会長として15年余りにわたり調査員のリーダーとして活躍されました。さらに地域の良き指導者として農事研究会、公民館活動にも積極的に参加、貢献されました。

総和町統計調査員 大森竹次氏(74歳)

昭和22年県農業基本調査員に任命されて以来、現在まで40年近く統計調査に従事されました。その間、事業所統計調査、工業統計調査等に従事、調査の重要性や意義について常に啓もうに努め、骨身を惜しまない活動ぶりは、常に統計調査員の模範であります。

大宮町統計調査員 高安三次氏(74歳)

昭和22年の第6回国勢調査以来60年の第14回国勢調査まで9回をはじめ、農(林)業センサスに9回、県所管の調査に33回と約40年近くの間統計調査に従事されました。

責任感の強い温厚な人柄と懇切な指導により地域住民の信望も厚く常に他の統計調査員の模範である。

(統計課・統計指導グループ)



栄えある受賞者の面々



竹内知事(中央)を囲んで  
左より高安氏、大森氏、大久保氏、長沼氏